

令和3年12月教育委員会議定例会 議事日程

日 時 令和3年12月17日(金)
午前9時30分より
場 所 町民センター 2Aクラブ室

- 1 開会宣言
- 2 署名委員の指名
- 3 教育長事務報告
- 4 付議事項
- 5 報告・協議事項
 - (1) 小中一貫教育の方向性について 資料 No. 1
 - (2) 温水プールについて 資料 No. 2
 - (3) その他

* 次回教育委員会議予定

- 6 閉会宣言

令和3年12月定例教育委員会議 教育長事務報告

(R3.11.18~R3.12.16)

月	日	曜日	内 容
11	18	木	定例教育委員会議
			教育委員会学校訪問（山西小学校）
11	29	月	経済産業省「未来の教室実証実験」「二宮町の部活動の受け皿としての地域スポーツクラブの創出と地方活性への可能性の検証」事業 打合せ
12	1	水	本会議（教育委員任命、補正予算）
12	2	木	小中学校校長会
			二宮町自治功労表彰審査会
12	7	火	政策会議
12	9	木	本会議（一般質問）
12	10	金	本会議（一般質問）
12	14	火	本会議
12	16	木	令和4年度当初予算2次査定

12月政策会議結果報告

令和3年12月7日（火）開催分

【町長あいさつ】

12月議会が始まっているのでよろしく申し上げます。

【主な付議案件】

- 1 議会定例会の一般質問・総括質疑のとりまとめについて（政策総務部）
令和3年第3回議会定例会の一般質問・総括質疑について、議員の要望事項に対する各課の対応を協議し決定した。
- 2 令和2年度決算審査特別委員会の要望等に関する対応について
（政策総務部）
令和3年第3回議会定例会の令和2年度決算審査特別委員会における委員からの要望事項に対する各課の対応を協議し決定した。
- 3 「町への提案」等について（12月分）（政策総務部）
「町への提案等」について、3件の報告があり、教育委員会の関係は次の2件です。
 - ・JR二宮駅南口の伊達時彰徳碑について（お礼と残る問題）：回答済
 - ・吉田五十八邸のこと：回答作成中
- 4 防災講演会について（政策総務部）
町民を対象に防災講演会を、令和4年1月29日（土）に開催する。
- 5 令和3年度二宮町職員防災研修について（政策総務部）
町職員を対象に、令和4年2月8日（火）に令和3年度二宮町職員防災研修を実施する。

【情報交換】

- LGBT へのアライ（理解者・支援者）を育成するための職員研修を、民間企業と連携して、1月27日に実施する。（政策総務部）

教育総務課事業報告

事業報告

(令和3年11月18日～令和3年12月16日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
11月18日～ 11月19日	木金	一色小学校修学旅行	鎌倉・箱根（静岡）	-
11月19日	金	二宮小学校就学時健診	二宮小学校	130
11月19日～ 11月20日	金土	二宮小学校修学旅行	日光	-
11月26日	金	小学校英語教育研修会	一色小学校	12
12月2日	木	小・中学校校長会	第1会議室	11
12月6日	月	小学校英語教育担当者会（授業研究）	山西小学校	20
12月10日	金	教務担当者会	教育研究所	7
12月15日	水	中学校英語教育研修会	二宮中学校	8
12月16日	木	学校事務連携会議	町民センター	7

事業予定

(令和3年12月17日～令和4年1月20日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
12月24日	金	終業式	小中学校	-
12月28日	火	学校閉庁日	小中学校	-
1月5日	水	自治功労表彰式、教育委員会表彰式	ラディアン	-
1月7日	金	二宮町教育講演会	ラディアン	-
1月11日	火	始業式	小中学校	-
1月12日	水	特別支援教育担当者会	オンライン	23
1月17日	月	小・中学校校長会	第1会議室	11
1月17日	月	学校事務連携会議	町民センター	7
1月18日	火	小中一貫カリキュラムワーキンググループミーティング	代表者の所属校または町民センター	115
1月19日	水	二宮町教育支援委員会	町民センター	23
1月20日	木	小・中学校教頭会	町民センター	11
1月21日	金	総合教育会議	町民センター	13
1月24日	月	人権教育担当者会	オンライン	7

学校給食センター

事業報告

(令和3年11月18日～令和3年12月16日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
11月24日	水	納入物資業務監査	給食センター	5

事業予定

(令和3年12月17日～令和4年1月20日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
12月22日	水	2学期給食終了	小中学校	—

生涯学習課事業報告（令和3年11月18日～令和3年12月16日）

生涯学習・スポーツ班

月／日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	定員	参加人数
11/23 ～ 12/5	火	一色小学校子ども作品展	二宮町図書館	—	—
11/27	土	二宮町民大学講座『二宮金次郎の生涯』	町民センター 2Aクラブ室	20	24
11/29	月	二宮小放課後子ども教室	二宮小学校	146	71
12/6	月	二宮小放課後子ども教室 一色小放課後子ども教室	二宮小学校 一色小学校	146 46	55 31
12/8 ～ 12/19	水	二宮中学校子ども作品展	二宮町図書館	—	—
12/10	金	山西小放課後子ども教室	二宮小学校	146	117
12/13	月	二宮小放課後子ども教室 一色小放課後子ども教室	二宮小学校 一色小学校	146 46	
12/16	木	成人式実行委員会	ミーティング ルーム2	38	

生涯学習課事業予定（令和3年12月17日～令和4年1月20日）

生涯学習・スポーツ班

月/日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	開始時間
12/17	金	環境浄化パトロール	町内	15:00
12/20	月	二宮小放課後子ども教室 一色小放課後子ども教室	二宮小学校 一色小学校	14:00
1/10	月・祝	令和4年成人祝賀会 第一部 二宮中学校区 11:00～ 第二部 二宮西中学校区 14:40～	ラディアン	—
1/14	金	環境浄化パトロール	町内	15:00
1/17	月	二宮小放課後子ども教室 一色小放課後子ども教室	二宮小学校 一色小学校	14:00

生涯学習課事業報告（令和3年11月18日～12月16日）

図書館班

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開催場所	定員	参加人数
11/19	金	わらべうたであそぼう(各4組)	和室	各4組	6組
11/20	土	おはなし会 (事前申し込み制：6組12人上限)	おはなしの へや	6組 12人	4組 11人
11/25	木	図書館だより第80号発行(町内回覧)	—	—	—
11/26	金	図書館・ラディアン見学 (山西小学校2年生2クラス 65人)	図書館	—	—
12/7	水	図書館だよりティーンズ版発行	—	—	—
12/8	水	ちいちゃいおはなし会 (事前申し込み制：6組12人上限)	おはなしの へや	6組 12人	3組 6人
12/11	土	大人が楽しむおはなし会	ミーティング ルーム2	30人	24人
12/14	火	年末年始休館に伴う貸出期間等の変更	貸出期間 2週間 → 3週間 貸出数 5冊3点 → 10冊6点		
12/14	火	年末おたのしみ袋貸出開始 (児童向け・ティーンズ向け)	児童向け 35冊 ティーンズ向け 15冊		

生涯学習課事業予定（令和3年12月17日～令和4年1月20日）

図書館班

月/日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	開始時間
1/15	土	おはなし会 (事前申し込み制：6組12人上限)	おはなしの へや	10:30～
1/19	水	ちいちゃいおはなし会 (事前申し込み制：6組12人上限)	おはなしの へや	10:30～

小中一貫教育校設置に関する今後の考え方について（案）

1 これまでの経過 ※二宮町小中一貫教育校設置計画（案）作成以降

①第1回意見交換会開催（令和元年7月20～28日 全6回）

【説明内容】

- ・小中一貫教育の概要と目的・効果
- ・二宮町小中一貫教育校設置計画（案）の概要
※一色小・二宮中の2校を施設一体型小中一貫教育校とする案

【主なご意見】

- ・大筋では小中一貫教育を歓迎する声
- ・京都大原学院の取り組みを二宮町に置き換えた具体例の提示を求める声
- ・地域から学校が無くなることに反対する声
- ・統合後の学校跡地の利活用について提示を求める声
- ・通学方法としてスクールバスなどの検討を求める声 など

②第2回意見交換会開催（令和2年2月1～15日 全8回）

【説明内容】

- ・第1回意見交換会で示されたA～Iまで9つの学校配置案と通学距離・時間
- ・二宮町における小中一貫教育校設置のイメージやメリット・デメリット

【主なご意見】

- ・地域に学校が残ることを歓迎する声
- ・中学校の集団性や学習環境の確保を求める声
- ・体格差などに関する安全への不安の声
- ・小中一貫教育のメリットへの疑問の声など

③意見交換会で出された課題

- ・小中一貫教育のメリット・デメリットの更なる検証と対応策の提示
- ・先進事例視察などを通じて、二宮町に合った施設一体型小中一貫教育校の検証
→保護者・地域住民との対話はまだまだ必要！

④その後の状況の変化

- 国：小学校における35人学級の段階的導入、コロナ禍における学校の新しい生活様式、小学校高学年への教科担任制導入、新しい時代の学校施設の5つの方向性の検討など
- 町：学校長寿命化計画を策定し、パブリックコメントを経て、今後20年程度は現在の学校施設が使用できるよう維持改修していく方向性を決定
カリキュラム研究の推進、「誰一人取り残されない学級集団づくり」の導入
- 他市町：木の学校や1,000人を超える規模の学校の新設

2 今後の取り組みの方向性

現在～令和4年度（2022年） 施設分離型小中一貫教育校設置に向けた準備

2つの中学校グループを設置

A：二宮中・二宮小 B：二宮西中・一色小・山西小

- ・グループごとに、学校教育目標を統一するほか、分離型で実施する内容を整理（学校組織、授業や行事の実施方法など）
- ・一色小児童の中学校選択制を検討
⇒上記について、令和4年の夏頃に保護者・地域に周知

令和5年度（2023年） 施設分離型小中一貫教育スタート

- ・9年間を見通したカリキュラム研究に基づき、小中学校の教員が連携して指導
 - ・すべての小中学校が共通性と一貫性を持って、「誰ひとり取り残されない学級集団・学習集団づくり」を継続的に推進
 - ・小中学校間での交流の促進（例：オンライン交流や行事の共同開催など）
 - ・4-3-2制の導入
- ⇒分離型による取り組みは段階的に発展させていく

（この間）

施設分離型小中一貫教育の実施

- ・中学校グループを基盤とした学校間の連携の強化
- ・施設分離型小中一貫教育の成果の把握と町民への提示

中学校グループ内での統合に向けた話し合い

- ・各校学校運営協議会の連携強化による学校統合の可能性の話し合い

町内すべての学校の統合に向けた準備

- ・児童生徒数に応じた学校規模や場所の検討
 - ・より小中一貫の効果を高め、時代のニーズにも沿った学校施設のあり方の検討
 - ・通学距離に応じた通学手段の検討
 - ・学校施設の設計・施工 など
- ※町民も交えて検討していく

令和22年（2040年）までに町内小中学校を1校に統合

※場所や規模、新設やリニューアルは今後検討

温水プールについて

この資料は、令和3年度教育委員会基本方針の②社会教育1社会教育施設の運営(2)体育施設の適切な管理運営②温水プールの在り方の検討、に基づき、状況などを整理したものです。

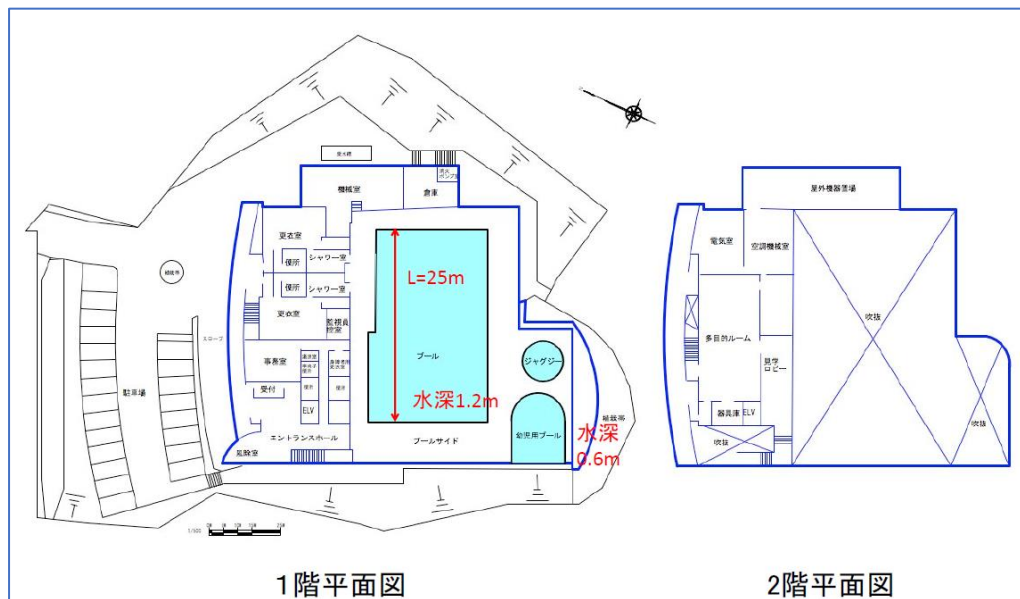
1.施設等概要

名称 二宮町民温水プール（住所 二宮町中里 308 番地）

施設 鉄筋コンクリート造 2階建 延べ床面積 2022.37 m² 竣工 平成6(1994)年2月

業務 年間 274 日開館(休館日:月曜日、祝日の翌日、年末年始、施設管理特別休館)

※施設内容 25m プール、幼児用プール、ジャグジー、2階多目的室、更衣室、トイレ等



2.経過

①これまでの経過

平成30年3月 「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」策定

平成30年8月 町営プール意見交換会開催

平成30年11月 「町営プールの将来の方向性について」公表

平成31年3月 「二宮町営水泳プール設置条例(袖が浦プール)を廃止する条例」否決

②近年の経費及び利用の状況

年度	歳入額	歳出額	歳入—歳出	利用者数	町外率
H30	17,015,550 円	63,158,945 円	▲ 46,143,395 円	64,059 人	59%
R1	13,938,800 円	64,712,136 円	▲ 50,773,336 円	49,294 人	57%
R2	3,132,100 円	78,462,342 円	▲ 75,330,242 円	10,100 人	62%

3. 今後について

温水プールも含めた施設について、課長級職員による検討会議を開催し、協議を進めます。

町営プールの将来の方向性について

1. これまでの経過

- ・平成26年9月 平成25年度決算審査意見として「袖が浦プールは有料利用者が少ないまま推移しているため、速やかに廃止されたい」との意見が提出される。【資料①】
- ・平成27年9月 総務建設経済常任委員会から、公共施設に関する提言書として「袖が浦プールは利用率が低く経費が高い。学校プールとして利用している側面もあるが、存続するならば、大幅な利用率の向上を図るべきである。できなければ廃止も含め、検討すること」との提言が出される。【資料②】
- ・平成28年4月 袖が浦プールを休止とする。
- ・平成29年12月 本会議において、「子ども・子育て支援、地域性を考慮し二宮町営袖が浦プールの再開を求める決議」が賛成多数で採択される。【資料③】
- ・平成30年3月 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画において、3つのプールのあり方について、30年度中に将来的な方向性について検討し、短期で廃止する施設を決定すると位置づける。【資料④】

2. 各プールの現状

【資料⑤】

	温水プール	山西プール	袖が浦プール
竣工年月	平成6年2月	昭和57年6月	プール 昭和33年8月 管理棟 平成4年3月
平均年間利用者	67,649人	6,261人	4,135人
平均年間収入	19,294千円	553千円	325千円
平均年間支出	62,199千円	9,273千円	6,742千円
平均年間町負担額	42,905千円	8,720千円	6,417千円

※平成25年度から平成29年度までの平均（袖が浦プールは平成25年度から平成27年度までの平均）

3. 今後、維持管理するための費用比較（概算）

【資料⑥】

	5年間維持管理する場合	20年間維持管理する場合
温水プール	214,524千円	1,445,962千円 (建物・設備改修費 587,868千円含む)
山西プール	43,601千円	248,888千円 (建物・設備改修費 74,482千円含む)
袖が浦プール	51,579千円 (設備改修費 19,491千円含む)	194,905千円 (建物・設備改修費 66,551千円含む)

※平成25年度から平成29年度までの平均値を用いて算出（袖が浦プールは平成25年度から平成27年度）

4. 町民からの意見の聴取方法

(1) 町民アンケート (H29 年度実施)

公共施設再配置・町有地有効活用町民アンケート調査

●概要【対象】①住民基本台帳から無作為抽出した町民 (1,000 部) ※1

②施設利用者 (423 部用意⇒内配布数 189 部)

③団体代表者 (77 部) ※1

※1 不達：計4部

【期間】2017年6月23日～2017年7月14日

【回収状況】①無作為抽出した町民 436部 (回収率：43.6%)

②施設利用者 44部 (回収率：23.3% ※2)

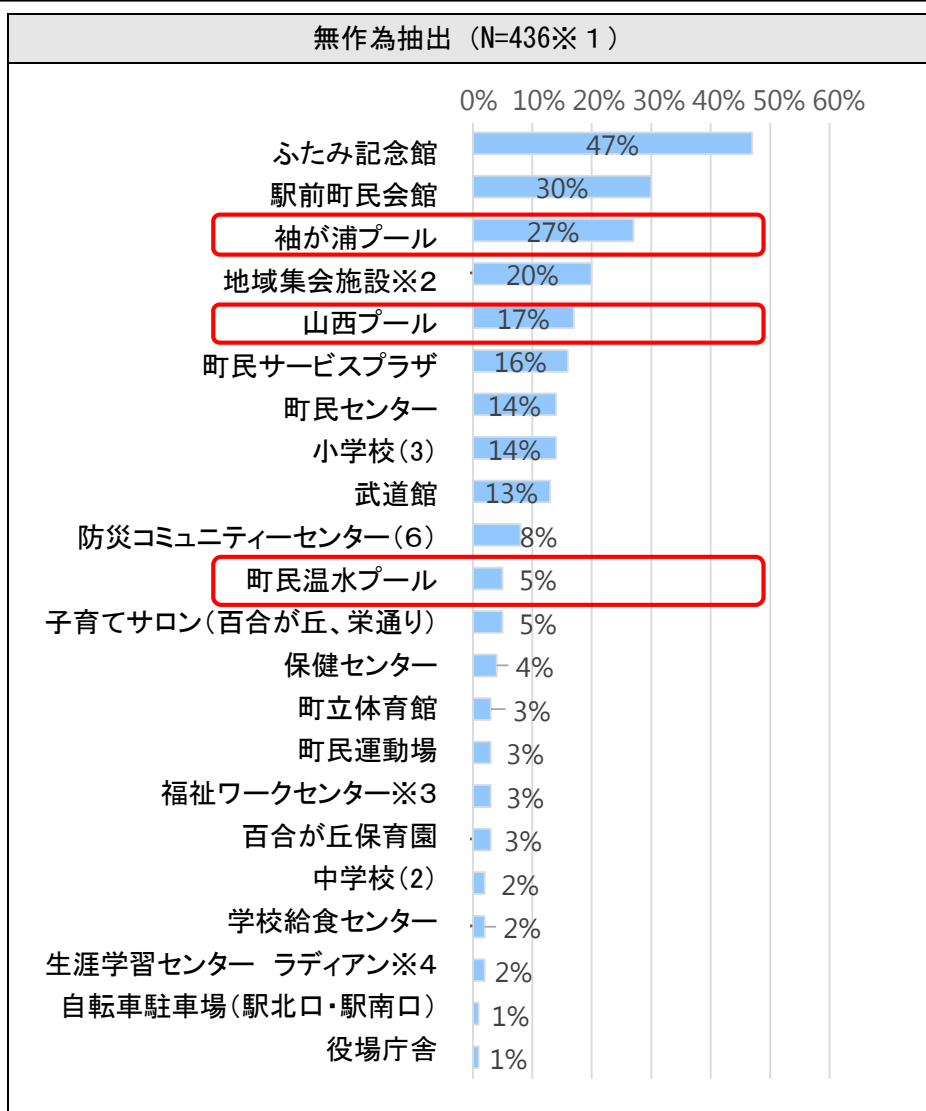
③団体代表者 54部 (回収率：70.1%)

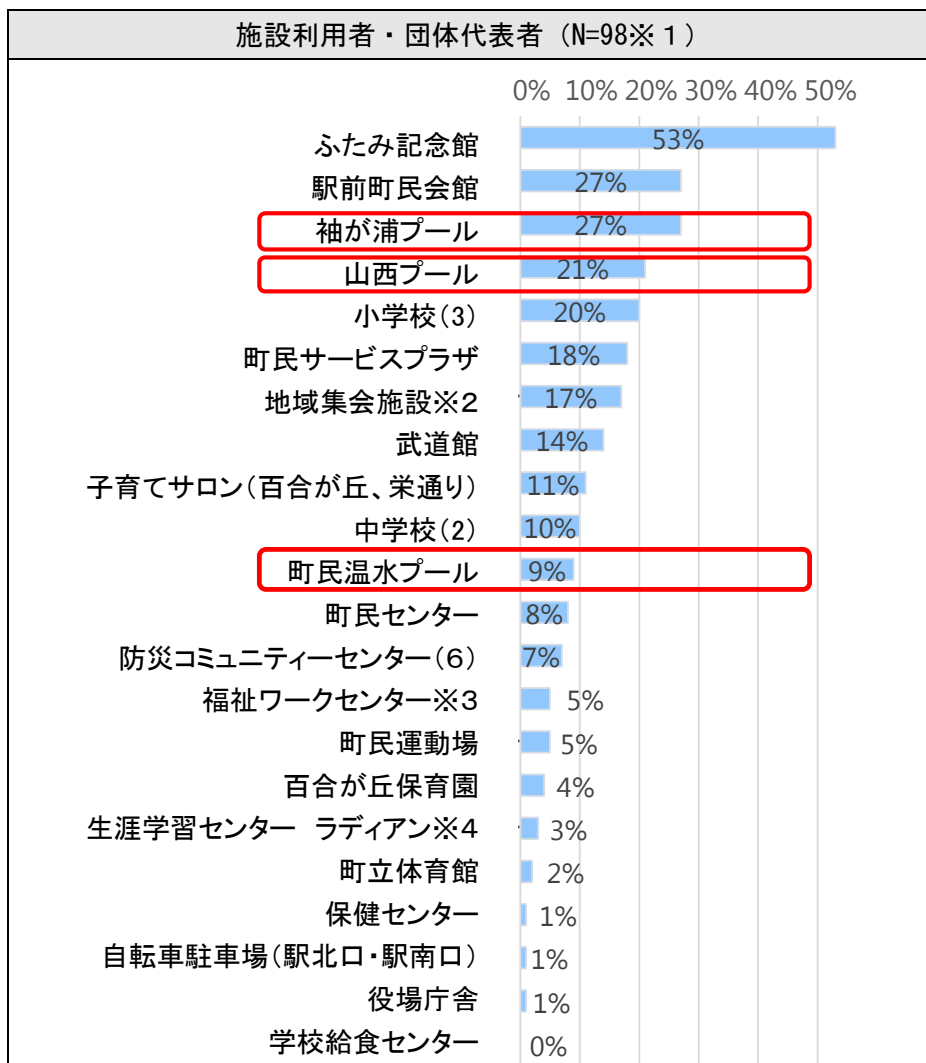
合計 534部 (必要サンプル数：380部)

※2 回収率=回収数44部÷配布数189部

●結果・意見

問4 今ある公共施設を全て維持できなくなった場合、あなたが削減または廃止しても町民サービスは維持できると思う施設とその理由についてご回答ください。(削減・廃止しても町民サービスが維持できると思う施設を5つまで選択)

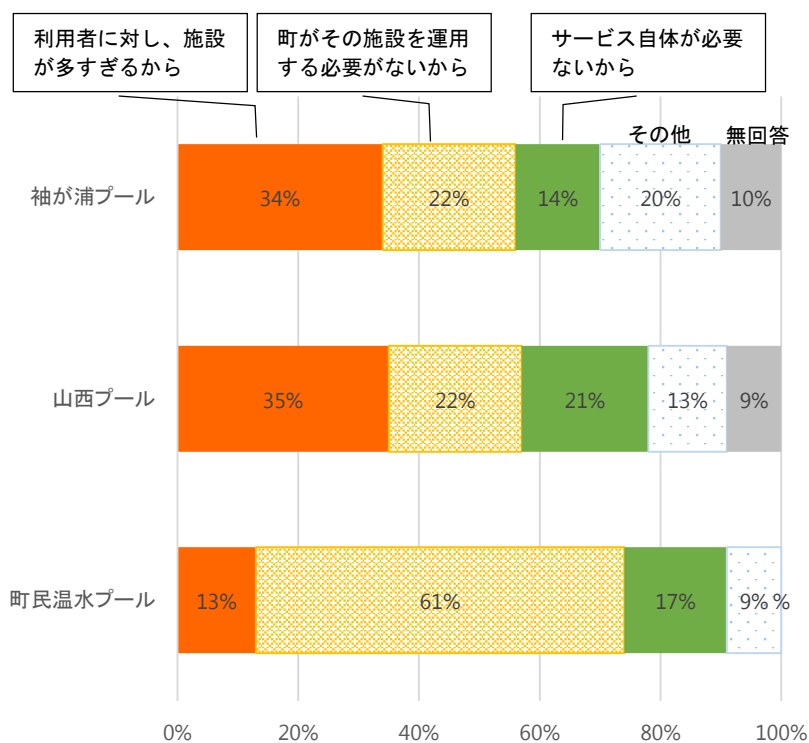




※1 無回答者を含む ※2 児童館8施設、老人憩の家9施設、公会堂2施設

※3 シルバー人材センター、カンナカンナ ※4 図書館は除く

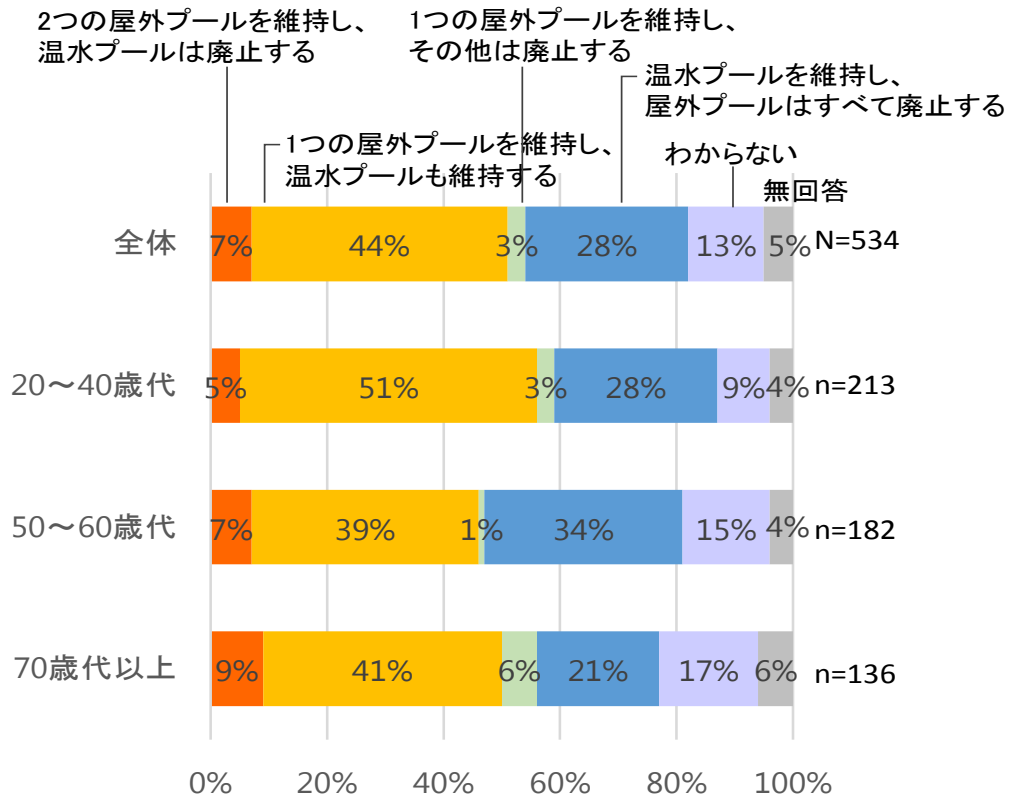
■理由



問9 町営プールは温水プール（町民温水プール）と屋外プール（山西プール、袖が浦プール）があり、今後、学校の水泳授業への影響を検証した上で、統廃合の検討を行います。

あなたは、今後の町営プールについて、どのような考え方が適切だと思いますか。

（1つ選択）（N=534）



(2) 意見交換会 (H30 年度実施)

町営プール 将来の方向性の検討に関する意見交換会

- 概要【開催】平成 30 年 8 月 18 日、19 日 (町民温水プール、町立体育館、ラディアン)
- 【参加者】37 人 (うち議員 13 人、いずれも述べ人数)

●結果・意見

- ・意見交換会では、温水プールの存続を望む声が多くあった一方で、袖が浦プールの再開を望む意見は無かった。

温水プールに対する意見

- ・健康づくりに役立っている (介護保険料や医療費の削減に繋がっている)
- ・障がいのある方も多く利用している。
- ・学校の水泳授業を温水プールでできることはありがたい。
- ・赤字だから廃止するのではなく、行政サービスとして続けるべき。
- ・近隣自治体や県などと共同運営することを検討すべき。

屋外プール全体に対する意見

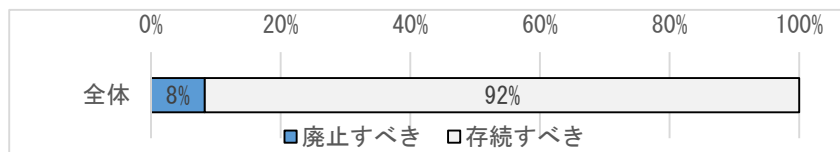
- ・夏は、子どもを屋外プールで泳がせたい。
- ・日差しが強すぎるため、今後屋外プールは廃れていくのではないか。

袖が浦プールに対する意見

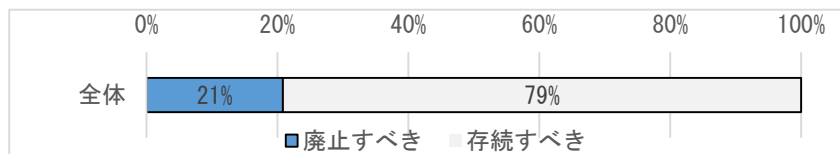
- ・再開にかかる費用が無駄。
- ・駐車場がない。
- ・近所では休止して困っている人はいない。
- ・意見交換会参加者に実施したアンケート結果は、以下のとおり

問 6 町営プールを廃止するとした場合、どのプールを廃止すべきと考えますか。あてはまるプールすべてに○をつけてください。また、その理由について教えてください。
※便宜上、○がついていないものは「存続すべき」としてあります。

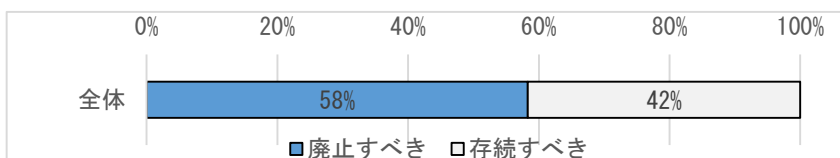
町民温水プール



山西プール



袖が浦プール



(3) その他

町への提案での意見

平成30年5月

温水プールを含む3つのプールの一部を廃止または民間に売却することなどを検討されているようだが、日頃から利用させていただいている立場としては、温水プールの存続を切に願う。そこで、今後、検討する上で、現在の利用の実態把握や、プール運営方法について精査した上で、継続に向けての検討をお願いしたい。

平成30年7月

町営プールの再開を考えてほしい。子どもは高いお金を払い、プリンスホテルのプールに行っている。

まちづくり移動町長室での意見

平成30年6月

- ・公共施設を減らすということに関して、せっかく施設があるのだから民間の力を活用して存続する方法も検討して欲しい。温水プールを利用しているが、子どもの水泳教室などで結構利用されているので、減らすということだけでなく、残すということも検討して欲しい。
- ・私は足腰が弱く、富士見が丘の坂道を歩く際はとても不自由しているので、足腰を鍛えるために温水プールを利用している。温水プールは、私以外にも高齢者の方や障害のある方、子どもたちなど多くの方が利用しているように感じているが、最近の利用者が少ないため施設を取り壊すと聞いている。

5. 各プールの今後の方向性

袖が浦プールの方向性

袖が浦プールは、バンガローや海水浴場に隣接し、袖が浦公園内に設置された観光を主体としたプールとして長期にわたり、利用されてきたが、バンガローの閉鎖や砂浜の復元の長期化により海水浴場が開設できない状況などもあり、プール利用者は年々減少している。

そのような中、議会からも利用率向上が図れないのであれば、廃止も検討することとの意見があり、平成 28 年度から休止することとした。

なお、その後、議会からは、再開を求める決議が採択されている。

また、アンケート結果では、廃止・削減しても町民サービスが維持できる施設の上位であり、意見交換会の結果においても、再開に向けた前向きな意見はほとんどなかった状況である。

一方で、再開に向けた改修に係る費用は一定程度かかるものの、維持管理に係る町負担額は多くはないが、利用者も少なく、費用対効果の面から考えると、効率的な施設とは言い難い状況である。

学校水泳授業については、平成 28 年度より休止している状況の中で、温水プールで実施されていることから、大きな支障になっていない状況である。

以上のことを勘案し、利用が少なく、費用対効果が低い状況の中で、将来にわたり施設を維持管理していくことは難しいと考えるため、早期の廃止に向けた調整を行うこととする。

なお、プールについては廃止することとするが、公園統廃合計画において、袖が浦公園はボール遊びができる公園として位置付けられており、また、公共施設再配置・町有地有効活用実施計画において、地域集会施設等の統廃合も進めていくこととしていることから、整備に向けた検討を地域の意向を確認しながら推進していくこととする。

山西プールの方向性

山西プールは、心身の健全な発達に寄与するための施設として、また 50m 公認プールとして水泳大会などにより、多くの方に利用されている。

また、アンケート結果では、廃止・削減しても町民サービスが維持できる施設で袖が浦プールに次いで上位であったが、意見交換会でのアンケート結果においては、山西プールを存続すべきが割合の多くを占めている。

維持管理面においては、町負担額は多くはないものの、プール利用者は減少傾向にあり、費用対効果の面から考えると、効率的な施設とは言い難い状況である。また、建設から 30 年を過ぎ、建物の更新が必要となるが、設備面では大規模な改修をしなくとも 20 年程度は維持管理できる状況である。

学校水泳授業については、山西小学校、二宮西中学校に加え、二宮小学校、一色小学校の着衣泳の授業も行われている。

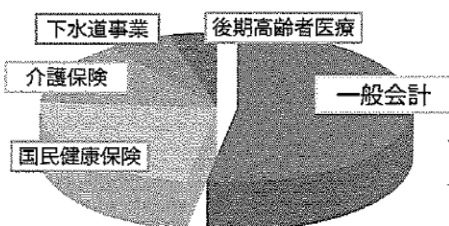
以上のことを勘案し、費用対効果が高いとは言えない状況であるが、利用者の増加に向けた取り組みを行いつつ、将来にわたり施設を維持管理していくこととする。

平成25年度
決算審査

公共施設の一元化や、
都市マスタープラン策定に議論白熱
地域公共交通の検証を求める

(単位は円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	82億3,087万	79億5,093万
特別会計		
国民健康保険	36億 462万	35億1,387万
介護保険	21億 838万	20億2,612万
下水道事業	9億 881万	8億9,398万
後期高齢者医療	6億7,800万	6億5,210万



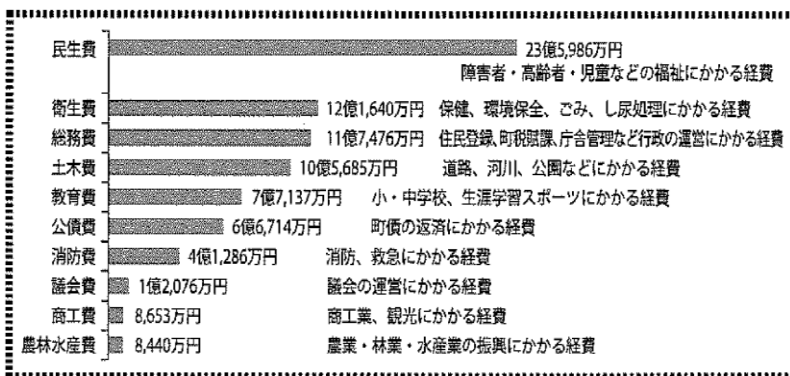
◆委員会結果
協議員が一般会計に反対討論。添田副委員長が全会計に賛成討論を行った。一般会計は1対5、4特別会計は全員賛成で認定された。

決議審査特別委員会の構成は次のとおり
◎委員長 小笠原陶子
○副委員長 添田孝司
▽委員 杉崎俊雄
脇 正文 根岸ゆき子
近藤行宏 二見泰弘

平成26年9月19日から延べ4日間にわたり、決算審査特別委員会を開催し、慎重審議を行った。

一般会計の
歳入82億3,087万円に対して
歳出79億5,093万円の使いみち▶▶▶

小動物園からシバザクラ園に
リニューアル (吾妻山公園)



審査
意見

各課の審査ごとに、委員から多くの意見や要望が出され、それを精査し審査意見として町に報告をする。町は今後の事業執行にあたり検討事項とし、努力することになる。

- ①子育て支援において、保護者の満足度を高め、先進自治体となるような気概をもって取り組まれない。
- ②総合計画が確実に進められるよう、各課横断的な調整を進め、さらにまちづくりに総合調整事業を拡充されたい。
- ③公共施設は、各課横断的な施設管理と運営により、施設の最大利用と経費の適正化に向け、さらに一
- ④都市マスタープラン策定は、町民や議会と意見交換を行いながら進められたい。
- ⑤一次予防事業については、その重要性を町民にアピールされ、健康寿命や医療費抑制を図られたい。
- ⑥コミュニティバス及びデマンドタクシーの利用者が少ない現状を改善すべく、抜本的な見直しを含め、早急な対策を講じられたい。
- ⑦子育て支援事業の中核をなす保健センターは、利用者の満足が得られるよう早急な修繕により、延命化を図られたい。
- ⑧袖が浦プールは、有料利用者が少ないまま推移しているの

で、速やかに廃止されたい。

一般質問

根岸ゆき子
議員



問

「町民参加」を核とした
政策反映へのシステム作り

全てにおいて透明性と公平性を
しっかりと重視する

Q 町の主役は町民一人ひとりである、と述べている村田町長から市民自治への捉え方についてメッセージが必要と考える。

A 市民自らが自分たちの生活をする中で課題を捉えどうしていくか、意思と責任を持って行動していくことだ。町長として私がリーダーシップをとるのはおこがましい。町民が主役の町づくりを進める基本は情報公開であり、それを基に町の将来について議論し、優先順位をつけて実行したい。

Q 町民参加活動推進条例には町長の町民参加への思いが明記されていると捉えてよいのか。
A 根岸議員は「思い入りの深い条例」と言うがそれは誤解だ。今回町民活動推進委員会に①町民

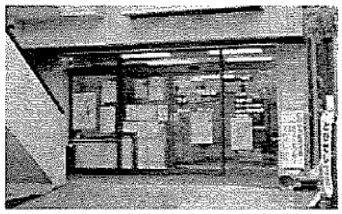
活動の推進方法②補助金のあり方③サポートセンターの運営及び支援のあり方の3点を諮問した。今の時代のニーズに合っていないと感じていることだ。来年度予算に反映するつもりで年内の答申をお願いしている。

Q まちづくり移動町長室の目的と効果を伺う。
A 前年までやっていたふれあいトーク等との大きな違いは、事前にテーマをあげていただく。的を絞った議論をしたい。

Q 予算編成過程で町民と意見交換したいと述べていたが平成28年度予算から検討していることがあるか。
A 予算編成過程における予算査定状況について町のホームページを通じて公表する。透明性の向上と公平性の確保を突

行したい。町が予算編成過程に町民の声をいれるシステムについては課題と受け止め、次年度に考えていきたい。

Q 町民の受け皿として機構改革でまちづくり協働課のような設置が必要ではないか。
A 効率的でスリム化した組織にするのが大前提であり大きく広げていく考えは一切ない。特化した課の設置にイエス・ノーを言える状況にはない。



町民サポートセンター
課題は駐車場、会議室、相談機能等

・ ・ ・ 常任委員会 活動報告 ・ ・ ・
町長へ提言書を提出
「公共施設は資産か？負債か？」
「作ろう！
総合型地域スポーツクラブ」

総務建設経済常任委員会

「町公共施設について」を課題として調査検討を行い提言書を提出した。

《提言書要旨》

公共施設の維持管理および更新に係る投資予算の確保は難しく、平成25年に公表した「二宮町公共施設再配置に関する基本方針」では、今後50年間で更新費用24.5億円に対し64億円しか予算が確保できないと試算。今回はスポーツ施設及び庁舎等を重点に、緊急度、利用状況および経費を分析し提言をまとめた。

センターについて利用率は低く、経費が比較的高い。また、耐震化もなされておらずリスクが高いことから検討すべき優先順位が高い。廃止による代替施設の確保、または改築による延命化等緊急な計画作成をすること。
②子育て支援を重要施設とする町において、百合が丘保育園の重要度は高い。しかも緊急度も高いので、早急に移設更新または一色小学校等他施設との複合化を検討すること。
③袖が浦プールは利用率が低く経費も高い。学校プールとして利用している側面もあるが、存続するなら大幅な利用率の向上を図るべきである。できなければ廃止も含め検討すること。
④町庁舎は建設費が非常に高くなると見込まれ、最も重要な施設であることから更新または延命化等、計画を早急に立てること。

教育福祉常任委員会

「身体を動かして健康長寿の町へ」を課題とし

て調査検討を行い提言書を提出した。

《提言書要旨》

文部科学省は平成12年9月に「スポーツ振興基本計画」を策定し、政策目標を掲げた。①生涯スポーツ社会の実現②成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人になること。具体的な施策として、全国の各市区町村において少なくとも一つは総合型スポーツクラブを育成するとしている。

●提言

①町は事務局設置場所の確保と県への申請を行い、総合型地域スポーツクラブの設立を支援すること。
②町は設立後もクラブ運営を継続的に支援すること。



両委員長より提言書を手渡す

議員提出議案第3号

子ども・子育て支援、地域性を考慮し二宮町営袖が浦プールの再開を求める決議について

上記の議案を、別紙のとおり二宮町議会会議規則第13条第2項の規定に基づき提出する。

平成29年12月1日

二宮町議会議長 二見 泰 弘 殿

提出者	二宮町議会議員	前田憲一郎
賛成者	同	桑原英俊
同	同	二宮節子
同	同	善波宣雄
同	同	野地洋正
同	同	渡辺訓子
同	同	一石洋司
同	同	柳川 駿

子ども・子育て支援、地域性を考慮し二宮町営袖が浦プールの再開を求める決議

町が、経費削減のためとして平成 28 年に袖が浦プールを休業してから、ふた夏が過ぎた。それまで利用していた幼稚園や児童養護施設、地域住民など幅広い方々から再開を望む声が上がっている。海が見える景観を生かした観光拠点の一貫としての資源であった袖が浦プールの可能性について何の創造力も発揮していない。袖が浦プール休業後、近隣の幼稚園や児童養護施設では、所有または借用のバスを使って山西プールや大磯町のプールまで子どもたちを移動させ、水泳・水遊びをさせている。往復の時間がかかるため、プールへ行く機会やプールで過ごす時間を減らすような事態が生じている。また、バスが手配できない園では、やむを得ずビニールプールで水遊びをさせており、水泳はできないという状況にある。

地域住民からは、子ども達だけで安心安全に行くことのできる水遊びの場がなくなり困っているとの声が上がっている。泳ぐ力は特に海辺の町に住む子どもたちにとって重要な生きる力である。二宮学童保育所においても同様の弊害が生じている。

二宮町議会は、平成 27 年度に総務建設経済常任委員会の継続調査報告において、「利用者増を図ることができないのであれば廃止も検討すべき」と町に提言したが、休業に至るまで利用者を増やす施策は実施されていない。

平成 27 年 4 月から施行された子ども・子育て支援新制度においては、市町村が新制度の主体として、当該地域内における幼児教育・保育に係るニーズを把握、「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定した上で、当該計画に基づいて、認定こども園、幼稚園、保育所、児童養護施設などや地域のニーズに応えるための体制を整備するものとされている。

袖が浦プールの休業とそれに伴う水泳時間の縮小などの現状は、子ども・子育て支援新制度に謳われている「ニーズに応えるための体制を整備する」という事項に相反するものであると指摘せざるを得ない。

町は「子ども子育て支援事業計画」で「地域の子ども・子育て支援の充実」を、さらに町の重点施策のひとつに子育て支援を掲げている。学校プールが設置されていないという点を考慮するならば、水泳教育の充実、子育て支援、地域性などの諸点から見て、袖が浦プールは必要である。町は地域住民や関係者の声を広く汲み上げ、その再開について早急かつ真摯に取り組むことを強く求めるものである。

以上、決議する。

平成 29 年 12 月 1 日

二宮町議会

各プールの現状について

資料 5

①平均年間利用者

(単位:人)

	H25	H26	H27	H28	H29	平均
温水プール	65,177	65,148	67,215	72,402	68,305	67,649
山西プール	7,847	6,430	5,545	6,211	5,270	6,261
袖が浦プール	4,596	4,233	3,576	-	-	4,135

②平均年間収入

(単位:円)

	H25	H26	H27	H28	H29	平均
温水プール	19,926,900	18,978,100	19,154,300	19,290,150	19,121,900	19,294,270
山西プール	644,700	507,800	590,100	583,100	439,600	553,060
袖が浦プール	317,400	283,300	373,600	-	-	324,767

③平均年間支出

(単位:円)

	H25	H26	H27	H28	H29	平均
温水プール	60,817,095	70,958,171	65,184,754	54,624,538	59,410,333	62,198,978
山西プール	11,216,655	8,905,939	8,765,096	9,325,155	8,153,860	9,273,341
袖が浦プール	8,375,345	5,620,616	6,231,369	-	-	6,742,443

《参考 支出内訳》

(単位:円)

	温水プール		山西プール		袖が浦プール	
人件費	9,121,738	14.7%	0	0.0%	0	0.0%
光熱水費	21,037,802	33.8%	1,734,634	18.7%	1,250,129	18.5%
修繕費	1,765,294	2.8%	235,286	2.5%	687,889	10.2%
委託費	23,520,581	37.8%	5,429,507	58.5%	3,167,140	47.0%
工事経費	2,545,344	4.1%	772,920	8.3%	1,050,000	15.6%
その他経費	4,208,217	6.8%	1,100,993	11.9%	587,284	8.7%
合計	62,198,976	100.0%	9,273,340	100.0%	6,742,442	100.0%

④平均年間町負担額

(単位:円)

	H25	H26	H27	H28	H29	平均
温水プール	40,890,195	51,980,071	46,030,454	35,334,388	40,288,433	42,904,708
山西プール	10,571,955	8,398,139	8,174,996	8,742,055	7,714,260	8,720,281
袖が浦プール	8,057,945	5,337,316	5,857,769	-	-	6,417,677

今後、維持するための費用比較(概算)

資料6

●前提条件□

・収入と支出については、平成25年度から平成29年度(袖が浦プールは平成25年度から平成27年度)の平均値を用いて算出しています。

・建物大規模改修費は、建物の大規模改修を行った場合を想定し、延床面積×更新単価(20万円/m²)で算出しています。

・温水プールを20年間維持管理する場合の設備大規模改修費は、20年以上維持管理するために必要と考えられる修繕・工事などの費用を計上しています。

・袖が浦プールの設備大規模改修費は、再開するために必要な費用を計上し、20年間維持管理する場合については、10年程度で耐用年数を迎える箇所の更新改修費も計上しています。

温水プール

	項目	金額	備考
5年維持	躯体大規模改修(延床面積×更新単価:20万円/m ²)	0	
	H25～H29 平均支出	310,994,890	62,198,978円×5年
	H25～H29 平均収入	-96,471,350	19,294,270円×5年
	計(町負担額)	214,523,540	
20年維持	設備改修費	空冷ヒートポンプ温水器交換工事(6台分)	60,000,000
		遠赤外線暖房機更新工事(3台分)	8,580,000
		オゾン発生装置交換工事(3台の新規交換)	49,640,000
		集中監視装置交換工事	20,000,000
		給排水衛生設備・空調関係	25,880,000
		ろ過ポンプ交換工事	2,478,600
		入退場管理システムリース(新規)	16,815,600
	計	183,394,200	
	躯体大規模改修(延床面積×更新単価:20万円/m ²)	404,474,000	2,022.37m ² ×20万円
	H25～H29 平均支出	1,243,979,560	62,198,978円×20年
H25～H29 平均収入	-385,885,400	19,294,270円×20年	
計(町負担額)	1,445,962,360		

山西プール

	項目	金額	備考
5年維持	躯体大規模改修(延床面積×更新単価:20万円/m ²)	0	
	H25～H29 平均支出	46,366,705	9,273,341円×5年
	H25～H29 平均収入	-2,765,300	553,060円×5年
	計(町負担額)	43,601,405	
20年維持	躯体大規模改修(延床面積×更新単価:20万円/m ²)	74,482,000	372.41m ² ×20万円
	H25～H29 平均支出	185,466,820	9,273,341円×20年
	H25～H29 平均収入	-11,061,200	553,060円×20年
	計(町負担額)	248,887,620	

袖が浦プール

	項目	金額	備考	
5年維持	再開に必要な費用	25mプールろ過装置ろ材交換	1,134,000	
		25mプールろ過装置修繕(部品交換)	1,123,120	
		幼児用ろ過装置修繕(部品交換)	129,600	
		電気配線等修繕	315,360	
		プール塗装(25m・幼児用)	4,536,000	
		東側フェンス張替	568,080	
		床シート張替	5,995,944	
		集水桝天板交換等修繕	719,928	
		トイレ	2,407,752	
		建設関係(シャッター、壁面、階段、屋根、窓ガラス等)	2,560,926	
	計	19,490,710		
	躯体大規模改修(延床面積×更新単価:20万円/m ²)	0		
	H25～H29 平均支出	33,712,215	6,742,443円×5年	
	H25～H29 平均収入	-1,623,830	324,766円×5年	
計(町負担額)	51,579,095			
20年維持	設備改修費	25mプールろ過装置ろ材交換	2,268,000	
		25mプールろ過装置修繕(部品交換)	1,246,240	
		幼児用ろ過装置修繕(部品交換)	259,200	
		電気配線等修繕	315,360	
		プール塗装(25m・幼児用)	9,072,000	
		東側フェンス張替	568,080	
		床シート張替	11,991,888	
		集水桝天板交換等修繕	719,928	
		トイレ	2,407,752	
		建設関係(シャッター、壁面、階段、屋根、窓ガラス等)	2,560,926	
	計	31,409,374		
	躯体大規模改修(延床面積×更新単価:20万円/m ²)	35,142,000	175.71m ² ×20万円	
	H25～H29 平均支出	134,848,860	6,742,443円×20年	
	H25～H29 平均収入	-6,495,320	324,766円×20年	
計(町負担額)	194,904,914			

令和4年度 1月教育委員会議定例会予定

1 日 時 令和4年1月21日（金）9時30分から

2 場 所 町民センター 2Aクラブ室

3 付議事項

(1) 令和4年度二宮町予算（案）について

4 報告・協議事項

(1) 令和4年度二宮町教育委員会基本方針（案）

※ 出席を要する主な行事

令和4年

1月 5日（水）	14時00分	自治功労表彰式、教育委員会表彰式（ラディアンホール）
1月 7日（金）	13時50分	二宮町教育講演会（ラディアンホール）
1月10日（月）	11時00分	成人祝賀会（二宮中学校区）（ラディアン）
	14時40分	成人祝賀会（二宮西中学校区）（ラディアン）
1月21日（金）	9時30分	教育委員会議（町民センター2Aクラブ室）
	13時30分	総合教育会議（町民センター2Aクラブ室）
2月10日（木）	9時30分	教育委員会議（町民センター2Aクラブ室）